

おひなさま



苑たより

(綜成苑通所利用者)



綜成苑・綜愛苑・つつじが丘苑・T-JOB 苑たより

令和2年3月号  
統合版第108号



空は青く澄み、ほんとうに穏やかな毎日が続いています。  
まもなく待ちに待った春ですが、毎日のように「新型コロナウイルス感染」について報道されていますので、利用者・職員ともに手洗い・うがい・マスク着用等感染予防に努めているところです。保護者の皆さま方も、体調には気をつけてお元気でお過ごし下さい。

## 3月の行事予定

- ☆10～24日 和歌山信愛女子短期大学生の実習受け入れ  
(綜成苑・綜愛苑)
- ☆17～18日 さくら支援学校高等部体験実習(綜成苑)
- ☆19日(木) つわぶき会・哲人会 法人理事会・評議会  
(アバローム紀の国)



## 前月の主なできごと

- ★3日(月) 節分豆まき(綜成苑・綜愛苑)
- ★3～17日 東大阪大学実習生受け入れ(綜成苑)
- ★7日 餅つき大会(つつじが丘苑)
- ★25～3/9 和歌山信愛女子短期大学生の実習受け入れ(綜成苑・綜愛苑)

## 新グループホームの名称は「花笑」に決定！

利用者・保護者・職員の皆様より65点の応募をいただき、さる2月10日に応募者の名前を伏せ、岩橋理事長、堀内会長、榎本苑長、二澤局長の4名による厳正な審査の結果、つわぶき会本部富田万喜さんの「花笑」に決定しました。

この花笑には“花が咲いたような、はなやかで「笑顔」がいっぱいのホームになるように”という思いが込められており、また支援信条の「わくわくときどき笑顔がいっぱい」や、和歌山弁の「かえらしよ」の意味合いもあります。

ご応募いただいた皆様、誠にありがとうございました！

## 支援員室だより

【 綜成苑 更生部 】

# 豆まき

2月3日、毎年恒例の綜成苑の節分行事が行われました。  
今年も例年のように年男・年女の利用者の方を先頭にみんなで鬼に向かって力いっぱい豆をまき  
一年の無病息災をお祈りしました。



今年の年女です。  
みんなの健康を祈って  
一生懸命、豆まきします。



(綜成苑 更生部 生活支援員 宮本昌樹・栗栖朋加)

【 綜成苑 授産部 】

今年も節分の行事を行いました。  
生活介護班では、季節の貼り絵をしています。  
それぞれ、集中して自分の作品を完成させています。



生活介護ではお雛様を作りました。  
自分で着物を決め、折れる人、切れる人、それぞれ出来る作業は違いますが  
自分だけのお雛様を完成させ、自宅に持ち帰り、飾ってもらいました。



2月14日調理実習でカップケーキを作りをし、家族にプレゼントしました。



上手く出来るかなあ～  
心配だあ！



(綜成苑 授産部 生活支援員 榎本多津子)

【 綜愛苑 更生部 】

豆まき

2月3日（月）節分の『豆まき』を行いました。今年には創作の時間に新聞紙を丸めて、豆まき用の豆をたくさん作りました。大小色んな大きさの豆が入り混じって、皆さん楽しそうに豆まきを行っています。“鬼は一そと、福はーうち”の音がたくさん響いて、今年も良い一年のスタートになりました。



2月4日（火）今月は『フルーツパフェ』作りを行いました。缶詰めの黄桃やカスターを包丁でカットし、カスタークリームはホットプレートで温めながら、良くかき混ぜて作っています。皆さん“わいわい”楽しんで調理を行っていました。



（綜愛苑 更生部 生活支援員 内海しのぶ・木下静江）

## 【 つつじが丘苑 】



1月20日作業の合間に焼き芋をしました。まだまだ寒いですが、焼き芋は暖かく、『甘くて美味しい』と好評でした。



2月7日はつつじが丘苑恒例行事の餅つきをしました。苺やアイスクリームや餡子をトッピングして食べ、ぜんざいや焼き餅もしました。みなさん笑顔でおなかもいっぱい、大満足な午後でした。



(つつじが丘苑 副主任目標工賃達成指導員 田川誠)

## 【 きらめき 】

毎月創作活動を行い、楽しく過ごしています。

2月は節分の豆まきをしました。暖かい日は多目的広場での散歩も組み入れています。

来月も沢山行事があり楽しみです。



(綜愛苑 更生部 生活支援員 齋藤実)

## 【 T-JOB 】

## ■プログラムの外部講師に和歌山県消費生活センターに来ていただきました。

T-JOBでは「自分らしく働きつづける」ための力を身に付けるために、「将来設計」「感情調整」「生活の基礎」「生活の幅」「コミュニケーション」「権利」といった6つのテーマを基本にプログラムを実施しています。

自己理解を深めながら、将来について一緒に考え、プログラムを通じて反復練習、経験をすることで、自分自身にもっと自信を持っていただく（自己肯定感を高める）支援を行っています。それらを通じて本人から新たな欲求（将来について）が生まれてくることが多いです。



今回「権利」のプログラムで、「自分の権利が侵されていることに気づき、SOSをだせるようになろう」というテーマで、「和歌山県消費生活センター」に来ていただき、身近なところでの詐欺や悪徳商法などの例をあげ、ロールプレイングを交えながらそれらへの対処法、お金の使い方・貯め方について具体的に説明していただきました。



利用者さんの権利への意識や様々な状況への注意喚起になる機会となり、良い経験をすることができました。

（T-JOB サービス管理責任者 石関良光）

【 管理栄養士より 】



**2/7(金)お誕生日会メニューです。**  
**お刺身は衛生上の関係で冬にしか提供できません。**  
**皆さん、とても喜ばれて食べられていました。**



**お誕生日メニュー**

**ご飯 茶わん蒸し 青菜ピーナッツ和え**  
**お刺身盛り合わせ 南瓜はさみ揚げ**  
**ケーキ**



(綜愛苑 管理栄養士 網本靖子)